

承認番号:RD5707-352

文書番号:10078178

平成 22 年 7 月 13 日

コンポジションタイル

CFシート用接着剤

## タックボントプレミア試験成績書



技術開発センター

## 1. 目的

コンポジットタイル、CFシート用接着剤「タックボンドプレミア」の性能評価を行った。

## 2. 試験項目

- 2-1. JIS A 5536 に基づく引張り接着強さ試験
- 2-2. JIS A 5536 に基づく 90 度剥離接着強さ試験

## 3. 供試材料

- 3-1. JIS A 5536 に基づく引張り接着強さ試験
  - 床材 : コンポジットタイル (40×40mm)
  - 下地材 : フレキシブル板 (70×178×8 mm)
- 3-2. JIS A 5536 に基づく 90 度剥離接着強さ試験
  - 床材 : クッションフロア (25×200mm)
  - 下地材 : フレキシブル板 (70×150×8 mm)

## 4. 試験方法

- 4-1. JIS A 5536 に基づく引張り接着強さ試験
    - (1) 試験体の作製
      - 標準状態 (23±2℃、50±10%RH) において、下地材に規定のクシ目ゴテ (幅×高さ×ピッチ : 1.8×2.0×5.0 mm、V ノッチ) を用いて接着剤を塗布し、オープンタイムを 10 分取った後、床材を張付け、質量 1kg の錘を 5 秒間載せて圧縮したものを試験体とした (図 1)。
    - (2) 養生条件
      - 標準 : 標準状態で 168 時間。
    - (3) 測定条件
      - テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 3 mm/min にて測定を行った。
- (図 2)

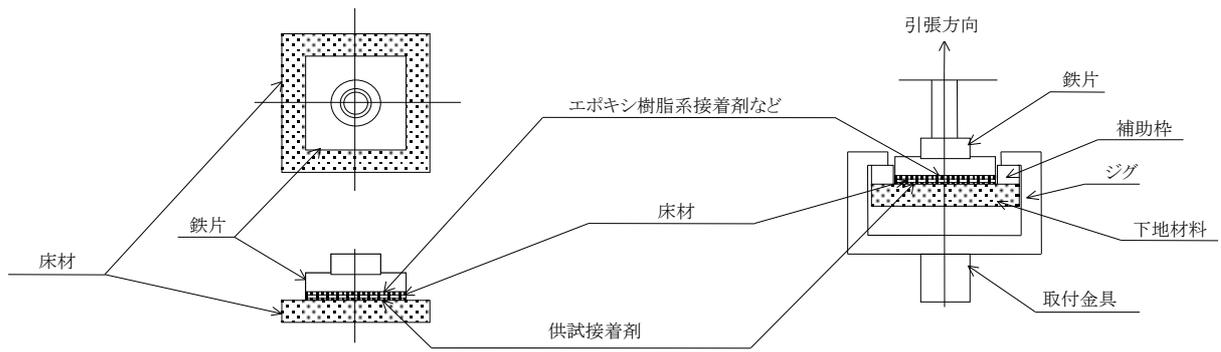


図 1

図 2

#### 4-2. JIS A 5536 に基づく 90 度剥離接着強さ試験

##### (1) 試験体の作製

標準状態 ( $23 \pm 2^\circ\text{C}$ 、 $50 \pm 10\% \text{RH}$ ) において、下地材に規定の罫目ゴテ (幅×高さ×ピッチ： $1.8 \times 2.0 \times 5.0 \text{ mm}$ 、V ノチ) を用いて接着剤を塗布し、オープンタイムを 10 分取った後、床材を張付け、質量 5kg の錘を 2 往復して圧縮したものを試験体とした (図 3)。

##### (2) 養生条件

標準：標準状態で 168 時間。

##### (3) テンシオン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 $100 \text{ mm/min}$ にて測定を行った。

(図 4)

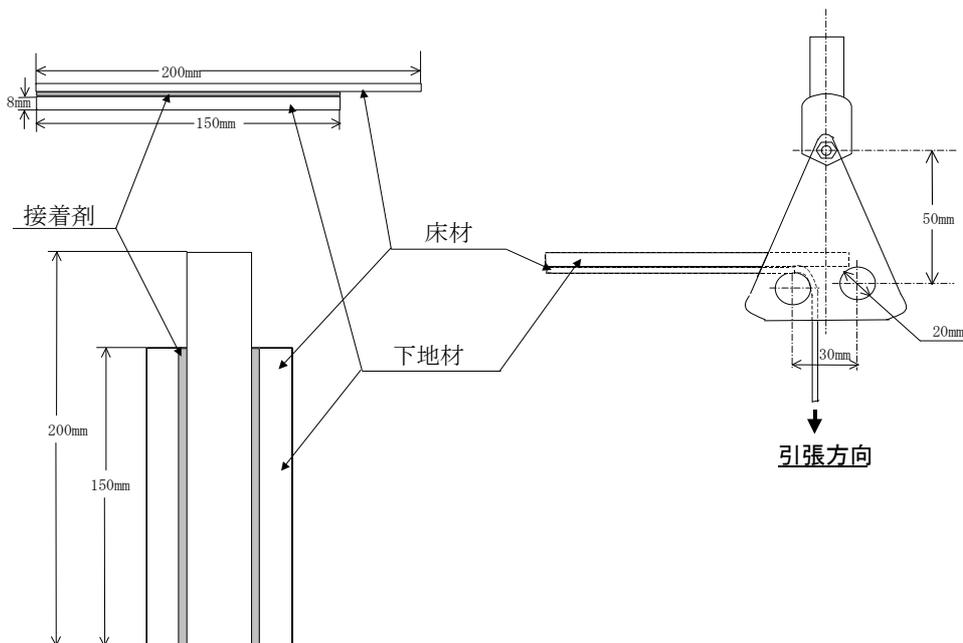


図 3

図 4

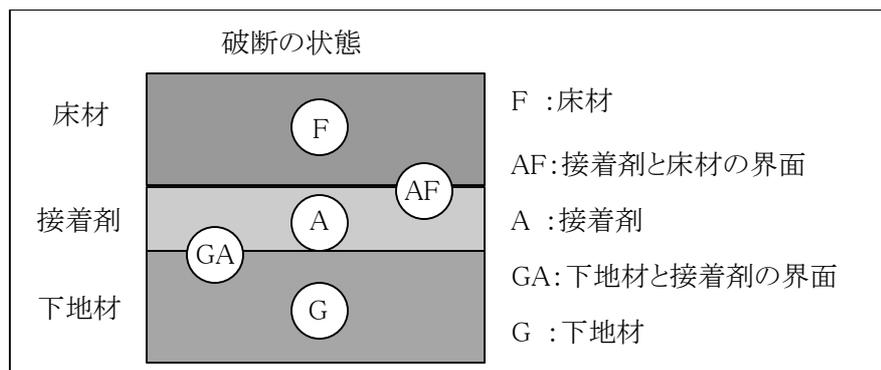
## 5. 試験結果

### 5-1. JIS A 5536 に基づく引張り接着強さ試験

引張り接着強さ試験		接着強度	破壊状態
		N/mm <sup>2</sup>	%
タックボントプレミア	1	0.41	A100
	2	0.44	A100
	3	0.34	A100
	4	0.44	A100
	5	0.51	A100
	ave.	0.43	

### 5-2. JIS A 5536 に基づく 90 度剥離接着強さ試験

90 度剥離接着強さ試験		接着強度	破壊状態
		N/25mm	%
タックボントプレミア	1	13.5	F100
	2	11.1	F100
	3	17.9	F70A30
	4	18.0	F90A10
	5	13.1	F100
	ave.	14.7	



#### JIS 判定基準

引張り接着強さ試験 : 0.2N/mm<sup>2</sup> 以上

90 度剥離接着強さ試験 : 10N/25mm 以上

※接着強さは、この数値未満でも、その最大面積を示す破断の位置が F 又は G であれば合格とする。

## 6. 考察

試験結果より、引張り接着強さ試験及び90度剥離接着強さ試験共に JIS 判定基準を満たしており良好な結果を得ています。

以上

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行う為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討ください。